７月９日　校長配布資料

「あたたかな人間関係づくり」を基盤とした教育活動の推進
～「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成～

～１年１組・１年２組・１年３組　授業訪問～

学習規律「須恵一スタンダード」の実施状況確認のための授業訪問で、今日は１年１組、１年２組、１年３組の訪問を行いました。

低学年では「心がまえ」「物がまえ」「身がまえ」といった基本的な学習規律について日々、細かな指導が行われています。「教科書、ノートの置き方」「次の学習への備え方」「友達や先生の話の聴き方」等、子ども達を上手にほめながら、そして時には厳しく指導が継続されています。今後の学習の基盤となる大切な時期、１年生の先生も日々汗を流しています。

１年１組、２組ともに算数科で「ひき算」の学習が行われていました。「どのようなときにひき算を使うのか」、１年生にとってはとても難しい学習です。(ひき算は○○の時に使うという説明は大人でも難しいものです)ですので、「理屈」ではなく「感覚」でとらえていくことが重要となります。１組も２組も「ブロックの操作の仕方を言葉で表し、その操作の過程を図で表すこと」を通して、感覚的に学びを進めることができていました。１組では「教師による一人ひとりへの細やかな指導」、２組では「ペアやグループを生かした子ども自身が話すこと」を大切にした授業が行われていました。

３組は本来４時間目の訪問だったのですが、外出により訪問できない時間帯だったので、２時間目に参観しました。(・・・私の勘違いもあるのですが)音楽の学習だったのですが、とても温かな雰囲気で学習が進められています。「笑顔」でほめながら、指導は「短い言葉で端的に」、そして子どもが改めたら「認める」。また、掲示物(評価の入ったプリント等)が定期的に更新されていることも、「一人一人の存在を大切にする温かさ」につながっています。

１年１組：物・心がまえの細かな指導の積み上げ

１年１組：操作で学習する低学年は、机の上の整理は必須

１年２組：「あいさつ」も練習。継続して特訓中です。

１年２組：ペアやグループによる話す力の育成

１年３組：スターを集めるとご褒美が！

１年３組：イメージを大切にした歌唱の授業